

SDSsについての提案 ⑫つくる責任つかう責任

新井翔真

1. 提案のきっかけ

最近いろいろなところでごみが増えていると思った。プラスチックの袋などが落ちていたりもしている。このままだと、世界中のいろいろな環境が悪くなっていく。

2. 現状や問題点

便利だからといって、プラスチックを大量に使ったり、地球に悪い影響が出るものばかりを使っているのが今の現状だ。紙でも、ゴミはゴミだから全体的に、減らしていかないとまずい。

以上のことを踏まえて、ゴミを全体的に減らす活動について提案する。

3. 提案

1リデュース

ゴミを減らすために、リデュースの取り組みを提案する。リデュースで、少しでもごみになるものを減らしたいからだ。

リデュースは、ゴミになるものを減らして、使う資源を、減らす。「ものを使いきる」「物を長く使う」「使

い捨てをしない」などで、この活動は作るものも減ると思うし、消費者もすぐに取り組める活動だと思う。

2 リサイクル

この活動は、ものを作る量を少しでも減らす取り組みとして提案する。

リサイクルは、ゴミを原料に戻して、繰り返し使う。この取り組みをすれば作る量が少しでも減ると思う。

4. 具体的な取り組み

1 リデュース

- ・物を長く使う
- ・ものを使い切る
- ・エコバックを使う
- ・ものを共有する
- ・使い捨てをしない
- ・使わないものは買わない

2 リサイクル

- ・リサイクルができるものは、できるだけリサイクルをする。
(ペットボトルキャップなど)
- ・リサイクルができるものを作る。
- ・リサイクルができるものをできるだけ買う。

5. 実現したときの効果

この2つの活動（ごみになるようなものを減らす・ものを再利用する。）を取り組んでいけば、作る量を少しでも減らすことができる世界になっていけると思う。誰でも手軽にできる取り組みに、なっていけたらうれしいと思う。